

Reborn こころのふるさとフォーラム 2018

～地域の再生現場から人生の豊かさを問う～

開催要項

1. 趣 旨

「ふるさと」 この言葉からみなさんはどのようなことを思い浮かべますか。

人口の流動化、都市化現象の進捗によって、日本列島は過疎・過密という大きなヒズミを招くことになりました。とくに過疎地である農山漁村は、総人口のわずか4%という状況です。一方、都市部では、人口集中や核家族化が急速に進み、地域力を支えてきたつながりも、「社会の空洞化」から「こころの空洞化」となって、暮らしにもさまざまな影響を及ぼし、農山漁村だけではなく、都市部の人々の生き方にも不安を与えています。

私たち青年団が置かれている社会教育や青少年教育という分野においてもその影響は否めません。若者を対象とする事業や講座を企画しても人が集まらず、自治体によっては「若者の姿が見えない」「要求があつたら動く」という現場の本音が聞こえてきます。若者の地域活動や成長を支援する人たち（支援者）同士をつなぎ、個々の課題と向き合い、全体で共有し解決に向けた実践と検証を繰り返す場が必要不可欠だと考えます。

一人ひとりの暮らしの根っこにある「ふるさと」という存在をもう一度見つめなおすために。

それぞれの立場で地域づくりの現場に携わる人たちが集い、学習や交流を通じて、今日的な課題を深めるだけでなく、参加者同士をつなぐ新たなネットワークの構築、活動の輪を広げることを目的に開催します。

2. 主 催

日本青年団協議会、一般財団法人日本青年館、「Reborn こころのふるさとフォーラム 2018」実行委員会
＜「Reborn こころのふるさとフォーラム 2018」実行委員会構成団体（案）＞

日本青年団協議会、特定非営利活動法人地球緑化センター、全国水源の里連絡協議会、自治体問題研究所、認定特定非営利活動法人 JUON（樹恩）NETWORK、日本都市青年会議、全国地域婦人団体連絡協議会

3. 後 援

文部科学省、厚生労働省、外務省、環境省、全国都道府県議会議長会、全国知事会、全国市議会議長会、全国市長会、全国町村議会議長会、全国町村会、全国山村振興連盟、公益財団法人日本離島センター、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構、一般社団法人共同通信社、オーライ！ニッポン会議、株式会社時事通信社、公益社団法人日本青年会議所、日本経済新聞、読売新聞社、公益財団法人あしたの日本を創る協会、日本社会教育学会、社会教育推進全国協議会、公益社団法人全国公民館連合会、全国社会福祉協議会、中央青少年団体連絡協議会、全国地方新聞連合会、中日新聞東京本社（以上予定）

4. 期 日

2018（平成30）年3月3日（土）～4日（日）（1泊2日）

5. 会 場

日本青年館 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

6. 参加経費

- 参加費 3,240 円
- 宿泊費 7,560 円
- 食費 昼食 1,080 円（お弁当）
- 交流会費 5000 円

※すべて税込になります。

7. 募集人数

100名

8. 対象

地域振興に関心のある方、世代間・異業種交流に関心のある方、社会教育、青少年教育の振興に関心のある方

9. 講演

テーマ「今、あらためて考える。地域とは何か」

講師 結城登美雄氏（民俗研究家）

昭和20年旧満州（中国東北部）生まれ。山形大学卒業後、広告デザイン業界に入る。15年にわたり東北の農山漁村をフィールドワークしながら、住民を主体にした地域づくりの手法「地元学」を提唱。出版界、演劇界、学者、研究者、建築家などとネットワークしながら、宮城県内及び東北各地で地域おこしの活動を行っている。宮城県宮崎町（現加美町）の「食の文化祭」や、北上町（現石巻市）での「宮城食育の里づくり」ではアドバイザーを務め、旧鳴子町「鳴子の米プロジェクト」の総合プロデューサーを務めた。「増刊現代農業」「グラフィケーション」など、雑誌や新聞を中心に農と地域づくりについて多数執筆中。

※講演は第63回全国青年問題研究集会との併催となります。

10. ふるさと再生シンポジウム

災害、まつり・伝統芸能の継承、過疎化対策など、それぞれの分野で日頃地域活性化をめざして取り組む若者による事例を通じて、地域を耕す若者の育成、青年教育の重要性を学びます。

コーディネーター 中村 攻氏（千葉大学名誉教授、元日青協助言者）

11. 分科会内容

テーマ1「青年・若者支援×地域づくり」

青年団をはじめとする若者団体の再生をきっかけとし地域づくりの未来を担うべき世代を育てるにはどうするべきか。学校・地域・家庭の連携を含めて今後の青年教育を考えます。

テーマ2「災害復興×地域づくり」

東日本大震災をはじめ、多くの自然災害が日本列島を脅かす中、生きるということに日々向き合い暮らしを営む方々があります。復興への様々な取り組みに学び、今後の地域づくりを考えます。

テーマ3「持続可能型社会×地域づくり」

日常生活や通常の事業活動から生ずる過大な環境負荷が大きな問題となっています。大量生産・大量消費・大量廃棄型の現代社会の在り方そのものを持続可能なものへと変革していくために、事業の在り方や生活スタイルについて考えます。

テーマ4「ふるさと再生×地域づくり」

地域資源の保全と活用を通じて人々の暮らしに彩を添える活動が全国には多くあります。先進事例に学び、生業や伝統文化、伝統芸能の伝承の観点などから今一度地域づくりを考えます。

テーマ5 「次世代の育成×地域づくり」

地域活動に取り組んできた青年団OB・OGの立場から、現役青年団への具体的な支援方法や今後の地域づくりを考えます。

時間	3月3日（土）	3月4日（日）
9:00	受付	テーマ別分科会
10:00		
11:00	講演 (全国青年問題研究集会と合同)	
12:00		
13:00	昼食・休憩	
14:00	ふるさと再生シンポジウム	エンディング
15:00	テーマ別分科会	
16:00		
17:00		
18:00	休憩	
19:00	夕食交流会 (全国青年問題研究集会と合同)	
20:00		
21:00		

※プログラムは都合により変更になる場合があります。

※3日の講演、夕食交流会、4日の全国地域青年実践大賞表彰式は、第63回全国青年問題研究集会との共同プログラムです。

※この事業は「第63回全国青年問題研究集会」と同時開催します。

12. お申込・お問い合わせ

Rebornこころのふるさとフォーラム2018事務局（日本青年団協議会内／担当：棚田、高嶋、鈴木）

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号 日本青年館ビル5階

TEL：03-6452-9025 FAX：03-6452-9026 Email：soshiki_kyosen@dan.or.jp